

# 令和3年度 自己評価アンケートまとめ

## 職員による自己評価

- 環境面においては、室内や相談室の広さは十分なので、個別対応もしやすい。職員数に関しては多く配置はしているが、勤務回数や支援経験による個人差があるので、研修等でスキルアップをしていきたいという意見がみられた。
- 非常時の対応については避難訓練等を行ない、お便りでも周知をしているが、その他、感染症対策や虐待防止等については、定期的な研修や見直し、周知が必要との意見がみられた。
- 支援については、日々ご利用者の様子に合わせて活動を進めたり、1日の流れやご利用者のサービス計画に基づいて情報共有をおこなうことで支援に活かしている。
- ご家庭、ご利用者との意思疎通や情報伝達の配慮については意識的に取り組んでいる。

## 保護者による評価

- 支援提供、配置人数、環境については、多くのご家庭から良い評価を頂いた。
- ご家庭、ご利用者との意思疎通や情報伝達については多くのご家庭から良い評価を頂いた。
- 保護者間、地域の児童との交流は、コロナ禍により難しかったが、活動先での関わりで十分、必要性を感じないとの意見を多く頂いた。
- 避難訓練の実施については、お便りなどで周知されているが、緊急時対応や感染症対応等の説明については、どちらともいえないという意見を数件頂いた。



## 事業所内での分析

- 各ご家庭より、ほぼ全ての項目においてご理解を頂いているが、非常時の対応で数件どちらともいえないという意見が見られたので、今後、事業所の課題として研修や周知が必要になっていく。
- 正職員と非常勤職員との間で情報共有に差が見られるので、様々な対応について共通理解ができるように、全体での研修やミーティングの場を増やしていく。

## 事業所の強み

- 環境面・体制面が比較的整っているので、障がいの特性に合わせた支援ができる。
- 1日の予定を職員間で情報共有することで、活動の確認や支援の統一に努めることができる。
- ご利用者やご家庭の困りごとに対して柔軟な対応ができる。
- 職員一同が課題に対して前向きに取り組むことができている。
- 児童の様子について、日々保護者様に伝える事で、発達や課題の共通理解が出来ている。

## 事業所の改善点

- 非常時の対応や各マニュアルについては、保護者様への周知を更に徹底していく。
- 職員研修の機会を確保していく。

## 事業所の改善への取り組み

- 非常時の対応については、繰り返し訓練を行う事で職員間の認識を深め、迅速に対応できるよう努める。また、面談やお便りにて周知しながら、保護者様の疑問や不安に対しては、職員間で話し合い問題解決していく。
- 研修又はミーティングを定期的に行うことにより、質の向上、支援の統一を図っていく。